

Mizuho Daily Market Report

2024/5/15

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	156.47	156.42	+0.20	+1.73
EUR	1.0787	1.0819	+0.0029	+0.0064
AUD	0.6608	0.6627	+0.0019	+0.0029
SGD	1.3537	1.3518	▲0.0017	▲0.0027
CNY	7.2377	7.2337	+0.0003	+0.0151
MYR	4.7127	4.7175	▲0.0120	▲0.0212
THB	36.73	36.67	▲0.15	▲0.23
IDR	16111	16104	+24	+55
PHP	57.85	57.85	▲0.02	+0.61
INR	83.52	83.51	▲0.02	▲0.00
VND	25452	25453	+1	+61

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.439%	▲4.7 bp	▲1.8 bp
日本(10年)	0.953%	+1.6 bp	+8.0 bp
ユーロ圏(10年)	2.548%	+3.8 bp	+12.8 bp
オーストラリア(5年)	4.008%	▲0.6 bp	+2.9 bp
シンガポール(5年)	3.279%	▲0.6 bp	+7.7 bp
中国(5年)	2.111%	+0.9 bp	+0.1 bp
マレーシア(5年)	3.738%	▲0.3 bp	+0.8 bp
タイ(5年)	2.510%	+0.1 bp	▲1.3 bp
インドネシア(5年)	6.980%	+2.8 bp	+6.1 bp
フィリピン(5年)	6.515%	+3.4 bp	+9.7 bp
インド(5年)	7.117%	▲0.3 bp	▲1.7 bp
ベトナム(5年)	2.180%	+1.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	39,558.11	+0.3%	+1.7%
N225(日本)	38,356.06	+0.5%	▲1.2%
STOXX50(ユーロ圏)	5,080.29	+0.0%	+1.3%
ASX(オーストラリア)	4,583.23	+0.2%	+1.3%
FTSTI(シンガポール)	3,313.35	+0.3%	+0.4%
SSEC(中国)	3,145.77	▲0.1%	▲0.1%
SENSEX(インド)	73,104.61	+0.5%	▲0.6%
JKSE(インドネシア)	7,083.76	▲0.2%	▲0.6%
KLSE(マレーシア)	1,605.88	+0.2%	+0.0%
PSE(フィリピン)	6,608.36	+0.1%	▲0.2%
SETI(タイ)	1,376.57	+0.3%	+0.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,243.28	+0.2%	▲0.4%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	287.38	▲0.1%	▲0.8%
金	2,358.12	+0.9%	+1.9%
原油(WTI)	78.02	▲1.4%	▲0.5%
銅	10,008.46	▲0.7%	+1.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	157.10
EUR/USD	1.0740	—	1.0850
AUD/USD	0.6490	—	0.6690
USD/SGD	1.3450	—	1.3680
USD/CNY	7.2150	—	7.2480
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	15880	—	16200
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	26,000

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は156円台前半でオープン。アジア時間朝方からドル買いが続き、仲値付近では一時売りが見られたものの、強いドルを背景に堅調に推移。その後も底堅い推移が続き、結局156円台前半まで海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に動意に乏しい推移。全般的なドル買いの流れを受けアジア通貨についてはやや売り優勢ではあったものの、今週控える米国のインフレ指標の発表待ちの様子見ムードもあり値幅は出づらかった。

海外市場のドル円は156円台前半でNYオープン。NY朝方に発表された米4月コアPPI(前月比)が予想を上回り、発表直は買いが先行し、156円台後半まで上昇。しかし、その後は先月分の結果がマイナス0.1%に下方修正された事が嫌気され、一転ドル売りが優勢となり、156円台前半まで売られる。続いてパウエル議長がイベントにて、「現行の政策金利を据え置く可能性が高い」と利下げを巡り再び慎重な姿勢を示すと、米金利が戻す展開に追随し、156円台前半まで反発。その後は目立った新規材料のない中、狭いレンジでの推移が続き、156円台前半でクローズ。

【金利】

金利市場は中長期でバラレルに低下。米4月PPI(生産者物価指数)の発表があり、結果は予想を上回る強いものとなった。発表後金利は大きく上昇したが、内容を消化するにしかたがって、買い戻しも入り、まもなく金利はもとの水準に戻した。パウエルFRB議長の講演が、前回FOMCの内容と比較して目新しい内容がなかったことも買い材料となった模様。

【予想】

本日のドル円は底堅い推移を予想。昨日発表された米4月PPIは強弱入り混じる内容であり明確なトレンド転換につながる結果とはならず。昨日はパウエルFRB議長から早期利下げに対し慎重な発言があったことを踏まえると基本的にはドル買い優勢の展開を予想。ただし、本日は注目の米4月CPIの発表を控えており結果に応じて相応の値幅を伴い上下する展開には注意したい。

【本日の予定】

(アジア) 1Q 豪 賃金指数
(アジア) 3月 インドネシア 毎月勤労統計-共通事業所ベース 現金給与総額 前年比%
(アジア) 3月 フィリピン フィリピン労働者送金
(アジア) 4月 インドネシア 貿易収支
(アジア) シンガポール 首相交代
(アジア) 中国 MLF(1Y)
(欧州) 1Q ユーロ圏 GDP(速) / 雇用(速)
(欧州) 3月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 独 国債入札(30Y)
(米国) 3月 企業在庫
(米国) 4月 CPI
(米国) 4月 小売売上高 / 実質平均時給
(米国) 5月 NAHB住宅市場指数
(米国) 5月 ニューヨーク連銀製造業景気指数
(米国) MBA住宅ローン申請指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。